

領域	科目名	単位	時間数	対象学年	開講時期	担当講師
基礎分野	社会学	1	30	1年次	4月	山田 梨佐
<b>授業概要</b> 人は社会の中に生きている、しかし社会とは何か。社会学は問い続けてきた。そうした社会学の視点を学びつつ、現代のいろいろな問題について考える。						
<b>到達目標</b> 1.社会学は何をを考えてきたのか、社会学の視点、考え方を理解する。 2.一人世帯の増加や少子化、高齢化など、現代の家族の問題を考える。 3.現代人の死生観や自然観について考え、医療者にとっての宗教の意味について考える。						
<b>使用教材</b> テキスト 参考文献等 適宜必要に応じて資料プリントを用意する その他						
<b>評価</b> 筆記試験						
<b>授業計画</b>						
時間・回数	授業内容					方法
10時間・5回	1. 個人と社会 集団のネットワークとしての社会、集団と個人の関係など社会学のものの見方を学ぼう。					講義
10時間・5回	2. 家族 最も身近な社会集団である家族について、社会学がどのように考えてきたか。さらに家族をめぐる現代のさまざまな問題について考えよう。					講義
8時間・4回	3. 現代社会と文化 大量消費社会と言われる現代社会の中で、人は何を求めて生きるのだろうか。死生観や自然観、広い意味での宗教についても考えてみよう。					講義
1時間・1回	まとめ（45分間）					講義
1時間・1回	筆記試験（45分間）					
備考						